

2 就業歯科衛生士・歯科技工士及び歯科技工所

(1) 就業歯科衛生士・歯科技工士及び歯科技工所数の年次推移

令和6年末現在の就業歯科衛生士（以下「歯科衛生士」という。）は149,579人で、前回（令和4年）に比べ4,396人（3.0%）増加している。

就業歯科技工士（以下「歯科技工士」という。）は31,733人で、前回に比べ1,209人（3.7%）減少している。

歯科技工所は20,278か所で、前回に比べ563か所（2.7%）減少している。（表4、統計表3）

表4 就業歯科衛生士・歯科技工士及び歯科技工所数の年次推移

（単位：人、か所）

各年末現在

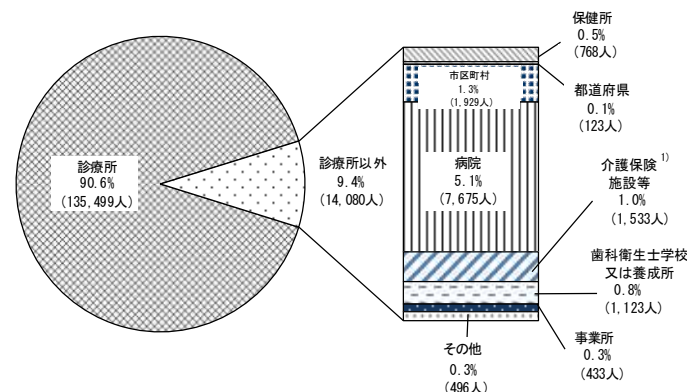
	平成26年 (2014)	28年 (’16)	30年 (’18)	令和2年 (’20)	4年 (’22)	6年 (’24)	対令和4年	
							増減数	増減率(%)
歯科衛生士	116 299	123 831	132 629	142 760	145 183	149 579	4 396	3.0
歯科技工士	34 495	34 640	34 468	34 826	32 942	31 733	△ 1 209	△ 3.7
歯科技工所	20 166	20 906	21 004	20 879	20 841	20 278	△ 563	△ 2.7

(2) 就業場所別にみた就業歯科衛生士・歯科技工士の構成割合

就業場所別に構成割合をみると、歯科衛生士は「診療所」が90.6%（135,499人）と最も多く、歯科技工士は「歯科技工所」が74.1%（23,521人）と最も多くなっている（図6、図7）。

図6 就業場所別にみた就業歯科衛生士

令和6（2024）年末現在

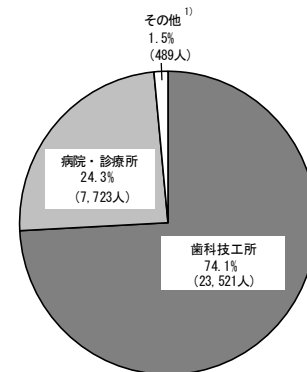


注：括弧内は実人員である。

1) 「介護保険施設等」とは、「介護老人保健施設」「介護医療院」「指定介護老人福祉施設」「居宅介護支援事業所」等をいう。

図7 就業場所別にみた就業歯科技工士

令和6（2024）年末現在



注：括弧内は実人員である。

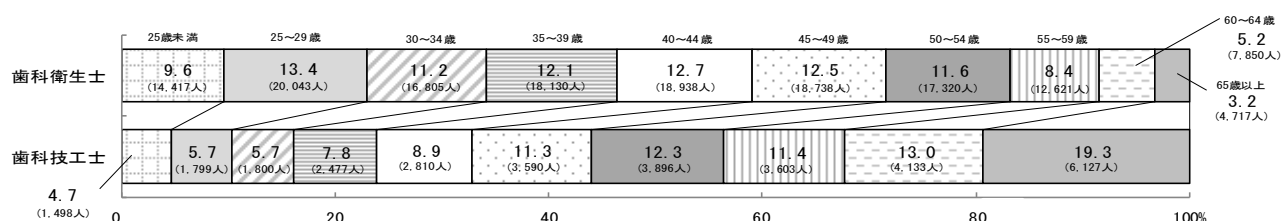
1) 「その他」とは、「歯科技工士学校又は養成所」「事業所」等をいう。

(3) 年齢階級別にみた就業歯科衛生士・歯科技工士の構成割合

年齢階級別に構成割合をみると、歯科衛生士は「25～29歳」が13.4%（20,043人）と最も多く、歯科技工士は「65歳以上」が19.3%（6,127人）と最も多くなっている（図8、統計表4）。

図8 年齢階級別にみた就業歯科衛生士・歯科技工士

令和6（2024）年末現在



注：括弧内は実人員である。